



研究の現場から

オンライン道德科学研究フォーラム ②

『道德科学の論文』を現代的視点からとらえる

「人間・生命・精神の進化」

道德科学研究所
研究主幹・教授

おおの まなびで
大野 正英

『道德科学の論文』の一・二冊目で展開されているいわゆる基礎編において、廣池千九郎は自然科学分野における当時最新の研究成果を積極的に紹介しています。具体的に言えば、人類の発生及び発達、遺伝、心と身体の相互作用、人間と動物との比較、脳と心などに関する研究が取り上げられています。道德を研究する上でこのような自然科学分野に着目した試みはあまり例がなく、人間存在の生物学的根源まで遡って道德を探究しようとする廣池の道德科学研究の独自性が表れている分野です。

『論文』執筆から一〇〇年余りが経過して、遺伝学、生理学、認知科学、脳科学、生物進化学といった関連する部門で目覚ましい発展がありました。廣池が『論文』の中で取り上げた学説の中には否定や修正されたものもありますが、全体としてみると廣池の考えを補強するような方向で発展した分

野が数多くあります。道德の自然科学的基礎付けを探究するという廣池の試みを現実にも可能とするための研究基盤がようやく揃ってきたわけです。もし現在廣池が生きているならば、このような多くの研究成果を積極的に取り入れていることは間違いないと思います。

今回のオンライン道德科学研究フォーラムでは、以上のような視点に立って「人間・生命・精神の進化」というテーマで『論文』の中で展開されている自然科学的研究を中心的に取り上げ、モラロジー研究におけるその意味づけを明らかにするとともに、現代の最先端の研究成果を踏まえた評価を行っていきます。

最初に大野がモラロジーの理論体系全体における自然科学研究の意味についての考察を報告した上で、研究部門において長年にわたり自然科学分野の研究を担当されて

きた立木教夫・小山高正両客員教授により、廣池の研究の特徴とその発展可能性について、現代の自然科学研究の最先端の成果に基づいた報告がなされます。

あまり取り上げられることのないモラロジーにおける自然科学的研究領域について、現代的視点から光を当てることによって、廣池が道德の科学的研究において何を目標としたかがより深く理解することができると思います。最先端の科学的成果を盛り込んだ非常に刺激的な内容をできるだけわかりやすく考えていきますので、多くの皆様のご参加をお待ちしております。

日 時：11月18日(土) 午後2時～5時

開催形態：オンライン形式(オンデマンド配信あり)

参加費：個人2000円 団体1万円(5名以上)

申込方法：下記QRコード、もしくはモラロジーネット(維持員専用ホームページ)からお申込みください。

締 切：11月15日(水)

【お問い合わせ先】

道德科学研究所(道科研) 事務局

電 話 04-7173-3252

Eメール rc@moralogy.jp

